

市民一人ひとりに役割と居場所のあるまちを目指して、各分野で市民のみなさんの力を活かしたまちづくりを進めようと、様々な取り組みを進めています。多くの取り組みがある中で、これまでに取り上げていない取り組みや、新しい取り組みなどを中心に平成29年1年間の状況について、ご紹介します。

どこでもいきいき運動教室【長寿課】

いつまでも地域でいきいきと暮らしていただくために、高齢者が集まる場所に月1回、無料で運動講師を派遣しています。



12月末まで、62団体、延べ2,648人が参加し、地域に介護予防のための運動が広がっています。

生活支援サポーター養成研修【福祉施策課】

自身のちょっとした空き時間等を活用して、地域の高齢者などの「ちょっとした困り事」へのお手伝いをしていただき、住み慣れたまちで、自分らしく安心して暮らしていけるよう、地域全体で支え合えるまちを目指すことを目的とした研修を行っています。

平成29年12月までで述べ62人の修了者がいます。今後も随時研修を開催予定です。



スマイルポイント【福祉施策課】

元気な高齢者を始め、誰もが年齢に関わらず、住み慣れたまちで自分らしく暮らし続けられるよう市民活動を推進し、地域社会へのさらなる参加を促すことをねらいとし、平成28年4月から事業開始しました。

現在、市内34事業所での奉仕活動や市が主催する48事業の行事等への協力に対して、ポイントが付与されています。また、平成29年1月から対象活動が広がり、市民団体が自主的に実施する奉仕活動も対象となっています。



ワンコインサービス【長寿課】

在宅の高齢者が抱える「電球の取り換え」や「庭の草取り」などの日常のちょっとした困りごとを、概ね60歳以上の市民が、有償ボランティアとしてお手伝いする事業です。

有償ボランティアの登録は71人に増加し、383件のサービス実績があります(平成29年4月～12月)。引き続き利用者や有償ボランティアの拡大を図っていきます。



保育園おたすけたい・児童館おたすけたい

【子育て支援課】

公立保育所及び児童館で、地域交流事業「保育園おたすけたい」と「児童館おたすけたい」を実施しています。登録いただいた人には、保育園・児童館の環境整備や活動のサポートなど、ちょっとした困りごとを助けてもらっています。その活動を通じて、地域の居場所づくりや、園児・児童との世代間交流を図るなど、身近な地域で子育てを支えあう環境づくりの推進を目的としています。

平成29年12月現在、保育園おたすけたいに63人、児童館おたすけたいに44人の地域住民が登録し、花植や草刈り、落ち葉集め、園・館周辺の清掃などの環境整備や、もちつき、散歩などの活動のサポートに取り組んでいただいています。



次のページもみてね